

悠久の湯平泉温泉 新企画「超くお得曜日」キャンペーン

夏の暑さから疲労した体力も徐々に回復し、涼しく過ごしやすいこの時期、「食欲の秋」「スポーツの秋」に加え、「ゆったり・ゆったり温泉の秋」を堪能していただきたく、悠久の湯平泉温泉では、10月と11月に新企画「超くお得曜日」キャンペーンを実施します。多くの皆さまの来館をお待ちしています。

- 対象期間 10月1日～11月30日までの「毎週水曜日と木曜日」
町民福祉課 ☎46-5562
悠久の湯平泉温泉 ☎34-1300

日本赤十字社義援金の募集

日本赤十字社では、次の災害などの義援金の募集を受け付けています。義援金は直接ゆうちょ銀行や郵便局で送金してください。受付期間中は、振替手数料が無料となります。またこの義援金は所得税法、地方税法および法人税法に基づき寄附金に該当します。受領証を希望する場合は、通信欄に「受領証希望」と明記してください。

- 令和元年8月豪雨災害義援金
▽口座記号番号 00120071696975
▽口座加入者名 日赤令和元年8月豪雨災害義援金
▽受付期間 令和2年2月28日(金)まで
町民福祉課 ☎46-5562
■令和元年台風第15号千葉県災害義援金
▽口座記号番号 0010008451648
▽口座加入者名 日赤令和元年台風第15号千葉県災害義援金
▽受付期間 12月30日(月)まで
町民福祉課 ☎46-5562

特典

- ①大人3時間以内が「入館料300円」
②「入館料500円」で、利用時間の制限なし
※午後7時以降は300円
③「超くお得曜日」は、ポイントカードのポイントが2倍

問い合わせ先

- 町民福祉課 ☎46-5562
京都府京都市伏見区で発生した放火事件に係る被害者義援金
▽口座記号番号 00980011323280
▽口座加入者名 日赤7.18放火事件被害者義援金
▽受付期間 10月31日(木)まで
令和元年台風第15号千葉県災害義援金
▽口座記号番号 0010008451648
▽口座加入者名 日赤令和元年台風第15号千葉県災害義援金

国民健康保険の有効期限は9月30日です

■新しい保険証は緑色からピンク色に変わります
国民健康保険被保険者証(保険証)は、10月1日から一斉に更新となります。新しい保険証は9月30日までに各世帯に郵送してきます。保険証は送り状の台紙に貼り付けてありますので、丁寧に剥がしてお使いください。また、10月になって保険証が届かないときは、お問い合わせください。今までお使いの緑色の被保険者証は10月1日以降使用できなくなりますので、各自廃棄してください。

状況によって有効期限が異なる場合があります。
問い合わせ先 町民福祉課 ☎46-5562

国民健康保険一般被保険者証の印刷画面。岩手県、有効期限 令和2年9月30日、被保険者証記号番号 12-345、氏名 平泉 太郎、性別 男、生年月日 昭和〇〇年〇〇月〇〇日、適用開始年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日、交付年月日 令和〇〇年〇〇月〇〇日、世帯主氏名 平泉 太郎、住所 岩手県西磐井郡平泉町平泉字志羅山46番地2、保険者番号 030734、交付者名 平泉町。

「無量光院跡発掘調査現地説明会」を開催します

本年度の発掘調査の成果を分かりやすく説明しますので、この機会にぜひご参加ください。

- 日時 10月19日(土) 午前11時～正午
■場所 無量光院跡

その他

駐車場の台数が少ないので周辺の駐車場をご利用ください。
問い合わせ先 平泉文化遺産センター ☎46-4012

「農業者年金新規加入説明会」を開催します

次の加入条件を満たす人で、農業者年金制度に興味のある人は事前に農業委員会へお申し込みください。
■加入条件
①60歳未満の国民年金第1号被保険者
②年間60日以上農業に従事する人

説明会開催日

- ▽日時：10月30日(水) 午前10時～正午
▽場所：役場2階202会議室
▽申込期限：10月23日(水)

農業者年金とは？

農家や農業に従事する人のための公的な年金制度です。認定農業者であることなど、一定の条件を満たすことによって、保険料の一部を国が負担してくれる制度があります。

農業者年金の特徴

- ①積み立て方式なので少子高齢時代に強い年金です。自分が積み立てた保険料とその運用益により将来受け取る年金額が決まる積み立て方式の年金です。
②終身年金で80歳までの保証付き。

「第2回平泉町総合教育会議」を開催します

- 日時：10月23日(水) 午後1時30分
■場所：役場3階委員会室2
■議題：就学前からの教育について
■注意事項 会議の傍聴を希望する人は、会議

問い合わせ先

教育委員会事務局 ☎46-5576

寄稿 平泉中二八会から

令和初に思うこと

わが平泉中学校二八会は、9月1日に厳美溪温泉「いつくし園」に37人が集い、令和初の同級会を行いました。

会はいつものように盛り上がり、その勢いのまま全員が二次会に参加して、芸達者たちによる歌や踊りが次々に披露され、閉会を告げることがためらうほど名残は尽きないようでした。



令和元年「平泉中二八会」の集い 厳美系温泉「いつくし園」で開催

同級会の毎年開催は還暦を祝う会からで、もう23回を数えます。今回から運営の方法を変え、平泉本家を中心に周辺の会が手伝うことになりまし。

しかし、寄る年波には勝てず、行き詰まることもあるので、より良い方法を模索しているとき、今回の参加状態が新たな方式のヒントになりました。

参加者が多かったことで、2日目の行事を削ったことで、次の日を考えずに気兼ねなく日帰りの参加ができ、老々介護の家族を抱えていたり、ペットとの二人暮らしをしていたりなど宿泊することに抵抗のあった人も気軽に参加してもらえることができました。日帰りの同級会を昼時間にやることで、遠来の参加者も、朝に新幹線で来て、旧交を温め、その日のうちに帰宅できる会も、何年に一度は試してみたい。ただしこれはあくまでも私の私見です。

平泉中二八会 東郷 元(毛越出身)